

専門分野と社会との関わり

テキスタイルや衣服になることなく廃棄されてしまう繊維資材や不要となり廃棄されてしまう繊維製品などの繊維廃棄物を削減するために、これらの資材の有効的な再資源化について研究しています。また、学生とともに、近隣産地と連携したオリジナルテキスタイルの製織を行ったり、地域イベントのファッションショーや展示にむけて衣装を制作するなど、テキスタイルおよび服飾作品を通じた地域連携も積極的に行っています。



廃棄こいのぼりを用いた衣服制作



BISHU THE SHOW



TWEED RUN BISHU in GIFU

ファッション領域

助教 柴田 佐和子

専門分野

服飾造形
ファッションデザイン

学位・資格

修士（生活科学）

研究者情報
(Research Map)

最近の活動紹介

教育活動／研究活動／地域貢献活動

地の利を活かしたフィールドワーク

岐阜市は古くからファッションの街として知られ、多くのアパレルや縫製の会社があります。また、岐阜市に隣接する羽島市や一宮市は毛織物の産地として世界的にも有名な地域です。これらの産地の近くで学んでいるという地の利を活かし、ファッション領域の学生を対象に学外研修を毎年実施しています。機屋や染色工場、縫製工場など、実際に稼働している製造現場を見学することで、織物や衣服の製造に関する知識を深め、作品制作に活かしています。



授業紹介／ゼミ生による教員紹介

着たい！を形にする

服飾造形の基礎から独創的なファッションデザイン、そしてビジネスとしてのファッションまで、多角的な視点でファッションの学びをサポートしてくれます。たとえば『ファッション造形演習』では、着心地の良いパターンの製図や効率的な縫製など、衣服制作に必要なスキルや知識を段階的に学べます。さらに、『地域実践演習（卒業研究）』では、より応用的な服作りに挑戦でき、「着たい！を形にする」ためのスキルや知識を身につけることができます。

